



# へいすい

【校訓】  
自律  
協同

学校だより  
令和5年度第7号  
発行責任者 校長 糸井 佐知子

とも がんばり いっしょうけんめい  
友の頑張りや一生懸命さをみていくことを大切にしよう。 ~~~

## 久留米市学力・生活実態調査（1，2年対象）の結果について



4月13日、久留米市学力・生活実態調査を実施しました。今回の調査は、「学力に関する調査」と「生活習慣や学習環境等に関する調査」の2つの内容から実施しています。「学力に関する調査」については、あくまでもペーパーテストにより測定できる学力の側面を調査したものであり、この結果が本校の子どもたちの学力全てを表すものではありません。しかし、確かな学力を育む上で大変重要なものであると受け止めています。また、「生活習慣や学習環境等に関する調査」からは、学習意欲や学習方法、学習習慣など子どもたちの学力に影響を与える生活上の課題が明らかになっています。

今回、本校の調査結果の概要及び調査結果から明らかになった課題と課題解決のために行う取組についてお知らせします。この内容を多くの保護者の皆様と共有し、今後の本校の学力保障・向上に向けた取組に役立てていきたいと思ひます。

### 【学力調査について】

○…理解の定着が見られた項目、◆課題が見られた項目

		1年生	2年生
国語	じつたい 実態	<ul style="list-style-type: none"> <li>○文法・語句(慣用句, 熟語の成り立ち)の意味を知り, 正しく使う。</li> <li>○小学校で学習した漢字を正しく読む。</li> <li>◆意図に応じて, 話の内容を捉え, 適切な文章で書く。</li> <li>◆自分の考えをまとめた文章で書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○1学年までに学習した漢字を正しく読む。</li> <li>○文法・語句に関する事項(歴史的仮名遣い, 単語, 故事成語)について理解する。</li> <li>◆情報と情報の関係を理解し, 読み手の立場に立って書く。</li> <li>◆自分の考えを根拠を明確にして文章で書く。</li> </ul>
	とりぐみ 取組	<p>きょうだい たんげん おう 教材(単元)に応じて, テーマを決めて文章を書いたり, 自分の考えをまとめたり, 学習の振り返りを書く活動に重点的に取り組みます。また, 指定された字数で自分の考えをまとめて書く活動など条件に応じた書く活動も行っています。</p>	<p>てんせい ご しんぶん きじ か うつ とく きじ ないよう 「天声子ども語」(新聞記事の書き写し)に取り組み, 記事の内容を明確に捉え, 自分の考えを文章にする練習を行います。また, 情報と情報の関係を理解したり, 根拠となる部分を明確に捉えたりするために, 接続詞に着目した読み方の定着を図ります。</p>
社会	じつたい 実態	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日本国憲法の三原則について, 具体的な事例と関連づけて考察する。【公民分野】</li> <li>○縄文時代～平安時代(大陸文化の摂取, 源氏と平氏の政治)について理解する。【歴史分野】</li> <li>◆日本の政治の仕組みについて資料を読み取り, 資料をもとに考察する。【公民分野】</li> <li>◆明治時代～大正時代(民主主義の広まり, 日清戦争, 条約改正)について理解する。【歴史分野】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○世界の地域(オーストラリアの鉱産資源, 中国の人口問題)についての理解をもとに資料を読み取っている。【地理分野】</li> <li>○緯線と経線が入った地図の特徴について理解する。</li> <li>◆それぞれの地域の名称や位置, その地域の特色について, 複数の資料をもとに, 考察したり, 判断したりする。</li> <li>◆歴史的史実の目的や文化の特徴について, 資料をもとに考察し, 表現する。【歴史分野】</li> </ul>
	とりぐみ 取組	<p>ていきてき しやう じつし きそてき きほんてき ちしき ていやく 定期的に小テストを実施し, 基礎的・基本的な知識の定着を図っていきます。また, 授業の中では, 資料の読み取りを行う際に, 子どもたちがわかりやすいように, 資料を見る視点・ポイントを提示することで, 資料を適切に読み取ることができるようにしていきます。</p>	<p>しりやう わ せつめい ふくすう 資料から分かることを説明したり, 複数の資料から自分の考えを根拠づけるものを選択したりする活動を行います。また, 単元(内容ごとの学習のまとめ)を貫く課題を設定することで, 子どもたちの意欲向上や学習のつながりを意識できる工夫を行います。また, ICTを活用した単元の振り返り活動を行います。</p>

数学	じったい 実態	<p>○小数・分数の計算ができる。</p> <p>○直線や三角形の角の大きさを求めることや、縮図を利用して実際の距離を求める。</p> <p>◆比例・反比例の関係から特徴を読み取り、表や式を求める。</p> <p>◆いろいろな表やグラフを読み取り、特徴を説明する。</p>	<p>○数量を文字式で表すこと、数量の関係を不等式で表す。</p> <p>○空間図形(立体の辺や角、回転体)について理解する。</p> <p>◆与えられた文章題から一元一次方程式を立式する。</p> <p>◆与えられたデータの特徴を表やグラフから読み取り、その傾向を説明する。</p>
	とりぐみ 取組	<p>定期的に小テストを行い、基礎的・基本的な内容の定着を図っていきます。また、毎時間の授業の中では、班や学級全体で考えを交流する場面を設定し、自分の考えを説明し、表現する練習を行っていきます。</p>	<p>朝学習で課題がみられた問題(文章題、データの活用)を中心に補充学習に取り組みます。また、日々の授業の中では、1年生の内容との関連を意識して学習していくような場面の設定を行っていきます。</p>
理科	じったい 実態	<p>○大地のつりと変化(地層のでき方、断層)を理解する。</p> <p>○水溶液の性質(リマス紙反応)について理解する。</p> <p>◆植物のつりとよはたらきの蒸散について理解する。</p> <p>◆水溶液の反応(酸性・アルカリ性・中性)について変化していく根拠を説明する。</p>	<p>○温度による溶解度の変化と小さな物質の結晶の取り出し方法について理解する。</p> <p>○地震計の記録から、震源距離を推測できる。</p> <p>◆モデル実験における方法の違いが何を意味しているのかを解釈し、説明する。</p> <p>◆石灰岩とグラフの特徴を読み取り、区別する方法を説明する。</p>
	とりぐみ 取組	<p>生活の中の事象を、科学的な視点で捉えられるように、日常生活と結びつけて学習に取り組みます。動植物のからだのつくりや水溶液の性質など、多様な項目について整理し、系統立てて考える活動を行います。</p>	<p>実験の目的、仮説(予想)、結果、考察までの流れを意識できるように、実験を行い、科学的な視点から物事を捉えられるように取り組みます。また、自分の考えをまとめたり、振り返ったりすることで自分の学びを確認する活動を行います。</p>
英語	じったい 実態		<p>○絵の内容を適切に表している英文を聞き、その内容(命令文)を理解する。(リスニング)</p> <p>○対話文を読み、必要な情報を把握している。</p> <p>◆長文の読み取り、その概要を捉えて英文を完成する。</p> <p>◆場面や情報、条件に応じて英作文する。</p>
	とりぐみ 取組	<p>基本となる単語を身につけるために、単語を書く練習を毎日の家庭学習にしています。授業の中では、自分のことを表現する活動を多く設定していきます。また、デジタル教科書も活用し、発音や読む練習も個人のレベルに応じて取り組めるようにしています。</p>	<p>教科書の本文学習の後に、本文の内容を自分のことば(英語)で伝える練習を行います。また、単元毎にまとめた英文を書く活動を設定します。その際に、既習表現を使って、具体的な説明をする練習を行います。</p>

## がっこうぜんたい 《学校全体の取組み》

学校全体の課題点として、自分の考えをつくり、それを表現する(説明する、考察する、習った用語を使って文章で書く)ことが挙げられます。また、「主体的に学習に取り組む態度」という学習意欲に関する面でも課題がみられました。そこで、授業改善の取組として昨年度から重点を置いている『自主的に「まとめる」活動の工夫』に加え、毎時間の授業の中で、『学習を振り返って自分自身の学びの変容を自覚し、わかった・できたと実感できる場の工夫』を全職員で共通実践していきます。また、毎学期末に、生徒による授業アンケートを実施し、その結果をもとに各教科で重点項目を決め、授業改善に活かしていきます。今回の学力調査の結果分析をもとに、子どもたちがどこでつまずき、どの部分に課題があるのかを日々の授業を検証する視点として校内研修会や職員相互の授業参観に有効活用していきます。